

<発表事由>

- 1 暦年の初発事例
- 2 入院事例
- 3 死亡事例
- 4 集団発生事例
- 5 その他(特に注意喚起等が必要)

令和5年8月4日 15:00分現在
保健医療局 健康医療部 保健予防課
担当：麻生嶋、澤田
TEL 711-4270 (内2061)

腸チフスの発生について

南区内の医療機関から、20代男性の腸チフスの発生届出がありましたのでお知らせします。

1 経過

- 7月17日(月) 博多区在住の20代男性に発熱が出現。
- 7月24日(月) 南区内の医療機関を受診。
- 7月28日(金) 腹痛、嘔吐、下痢が出現。
- 7月29日(土) 南区内の医療機関を再診・入院。
- 8月3日(木) 医療機関による検査の結果、チフス菌が検出。南保健所に腸チフス発生届出。

2 感染者の状況

入院治療中だが、快方に向かっている。

3 行政対応

患者等への健康調査及び感染拡大防止の指導を実施。

4 原因

調査中(南アジア滞在歴有)

※腸チフス患者・感染者の福岡市への届出状況(令和5年8月4日現時点)

年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
件数	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2

※本件を含む。

【特記事項】

患者及び家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、提供資料の範囲内での報道をお願いします。

腸チフスについて

(1) 定義

チフス菌の感染による全身性疾患です。

(2) 臨床的特徴

潜伏期間は3～60日と幅があるが、典型的には7～14日である。

発熱・発疹・下痢などの症状を呈します。

細菌に汚染された水・食物、患者の便・尿などから経口的に感染します。

※腸チフス・パラチフスは、世界中でみられる感染症ですが、現在はアジア(特に南アジア)、アフリカ、南米などが流行地域とされています。これらの地域では、生もの、生水、氷などを飲食しないよう注意してください。

※腸チフスほか感染症の予防には手洗いの励行が大切です。

特に帰宅時、食事前、トイレの後などは、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。